

□□□□□□

みんなのスペース

◆あて先・問い合わせ 山田町役場総務課情報係 (電話) 028-1392 (住所不要) 82-3111内線417) へ。

「大浦げいぐり」

俺、いま新しい『生き物』を見た感がしている。それはほかでもないが、皆さま方が読んでおられる『広報やまだ4月号』によるものである。その『生物』とは、織笠の龍泉寺を拠点にして、素晴らしい社会活動をしている大浦人による『大浦げいぐり』である。この文言は、いまはもう普通の日常生活の言葉としてはほとんど使用してははいないと思っているが、何かしら懐かしさを覚える。今となればその昔となるが、我がが青少年の時代には母親に良く、そして強く言われた言葉であった。



「十五夜」

すすきの葉を揃えお団子を上げてね…希望でつかく、夢見て、跳ねる。
佐藤 啓子 (大浦・39)

た。いま、この世の中に
出て、皆さま方と一緒に
仕事をやる時には、あたり
辺りの「げいぐり」によく
気を付けて作業をするよ
うにと強い言葉で言っ
ているもんだった。今とな
れば、何かしら新しい文
言として懐かしさを覚
える「げいぐり」の皆
さま、そして皆さま方。い
つまでもげいぐりとともに、
お元気で

山崎 卓三 (大浦)

やまだ文芸広場

雑草の ずわずわ伸びて 穂をそろえ
まるで実りの 稲穂の如く

迎え火を 焚く習はしの 夕まぐれ
織きけむりの のぼるいくすぢ
内館 洋一 (飯岡・74)

うぐいすの さえづる声を 聞きながら
われは一人で 朝食をくう
昆 ユリ (織笠・84)

露草の 青の一角 露に濡る

螢火を 思い起こして 懐かしむ

迎え火に 亡き人偲ぶ 盆の入り

日暮れ時の 木立の中に 蛸の鳴く

沼崎 悦子 (船越・75)

あじさいも 猛暑に困り 首垂れ

甲子園 敗けて泣くより 勝って泣け

盆が過ぎ 孫たちかえれば 家広し

寒い夏 蝉もトンボ 姿なし

寒い夏 田圃の稲が 案じられ

佐藤 兼男 (船越・90)

町長室から

本町から大臣が誕生した。私が子どもの頃「末は博士か大臣か」という言葉が流行ったものだ。環境大臣として初入閣された際は、善幸先生がご子息の大臣就任を喜んでいらつしやる姿がテレビで放映された。今回は、お盆の時期を迎え、幽明境を異にしたご両親もきつと喜んでおられることであろう▼東京でのオリンピック開催が決定した当初、被災地の首長の多くは、復興工事への影響を懸念していた。手放して喜ぶ気持ちにはなれなかったのだ。しかし、冷静に考えれば、日本の観光産業の将来にとってオリンピック開催の効果は絶大であり、その先頭に立つ大臣が被災地出身ともなれば、これほどつてつげの人事はない。今後、日本でオリンピックが開催されることはしばらくないだろう。鈴木大臣には、被災地にも配慮いただきながら大成功に導いてほしいものである。

山田町長 佐藤 信逸